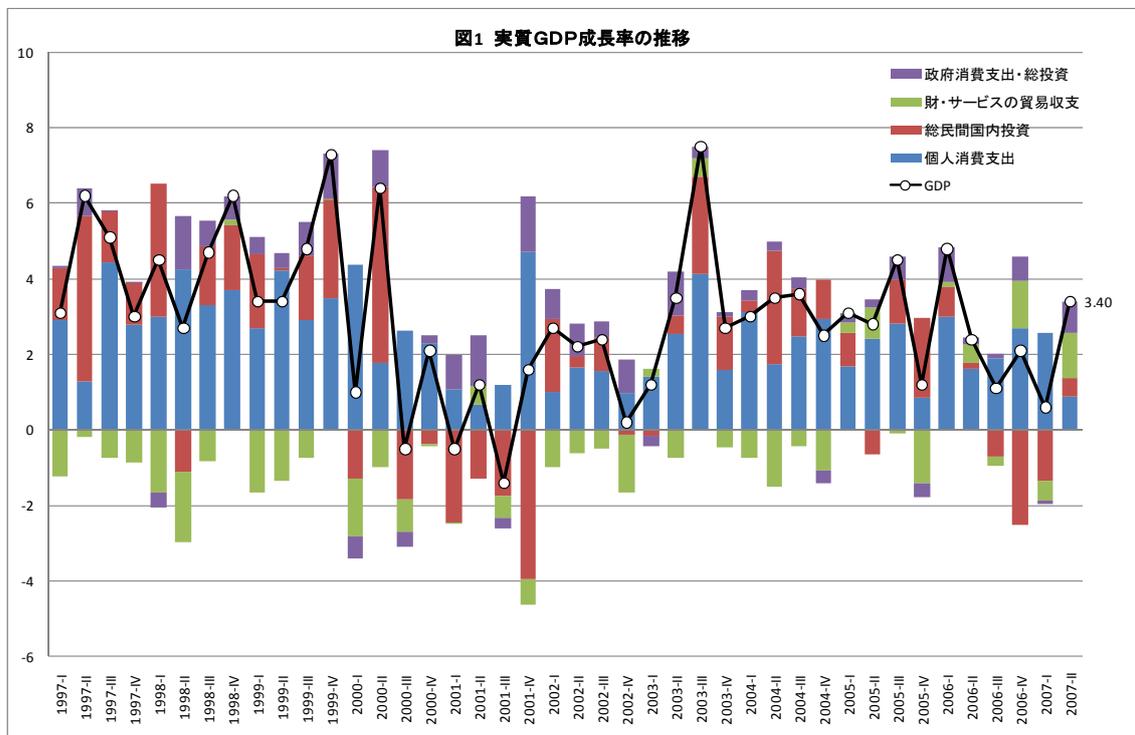


米国経済点描 (2007. 07. 28)

～2007年第Ⅱ四半期実質GDP成長率～

7月27日、米国商務省経済分析局（BEA）は2007年第Ⅱ四半期のGDPの速報値と2004年第Ⅰ四半期以降の年次改訂結果を公表した。この改訂によって2004年からこれまでの経済成長率は下方に修正され、2006年は、3.3%から2.9%に、第Ⅰ四半期も前回公表の年率0.7%から0.6%に改められた。一方、2007年第Ⅱ四半期の実質経済成長率の速報値は、3.4%と予想を大きく上回る高い成長となった。サービスへの民間消費支出、輸出、非住宅構造物、在庫純増、政府支出が牽引し、この一部を住宅投資が相殺した。貿易収支の改善は成長に1.2%も寄与し（図1参照）。

今回速報値の注目点としては、GDPの7割強をしめる民間消費支出の伸びが、実質ベースで第Ⅰ四半期の年率3.7%から同1.3%に鈍化したことである。とりわけ生活身の回りの食料、衣料、電気・ガス、レクリエーションがマイナスとなった。第Ⅱ四半期の民間消費支出デフレータは、年率4.3%上昇したが、その前期も同3.7%上昇しており、ガソリン等の物価上昇がじわり消費者マインドに影響を及ぼしているといえそうだ。



○お問合わせ先○

株式会社アクシスリサーチ研究所 〒107-0052 東京都港区赤坂渡辺ビル4F
 TEL 03-5572-7770 FAX 03-5572-7771 E-mail contact@axis-research.co.jp